

〔編 集 後 記〕

予定より遅れてしまいました。ここに『社会科学ジャーナル』第29号(1)をお届けいたします。本号はとくに昨年の2月末から3月にかけて国際基督教大学にて集中講義を行っていただきました。平和研究の碩学ヨハン・ガルトゥング教授の特別寄稿を掲載できましたことは、感謝であります。

それにしてもペルシア湾岸における今次の戦争は、ことに社会科学に従事している者にとっては慚愧にたえないことであります。はたして学問の進歩は習俗と人類の発展にどれだけ寄与するか、という問いに「大いなる否」をもって答えた若きジャン＝ジャック・ルソーの心情をかみしめさせられる思いがいたします。学問に人類を救済する究極の力が存することを肯定できないのでありますが、それでもなおそれぞれの学問分野において地道に研鑽を積むことの重要性を思わされます。

本号はとくに人類学、社会学、国際法を中心にして若い気鋭の研究者の労作が多く集まり、希望の光を投げかけてくれます。御寄稿くださいました皆様には心より御礼を申し上げます。

(千葉 眞 記)